

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	光市			代表者名	光市長 市川 熙
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部防災危機管理課	連絡先電話番号	0833-72-1403
担当者役職	係長	担当者氏名	秋山 和宏	連絡先E-mail	
住所	743-8501 山口県光市中央六丁目1番1号				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	自主防災組織育成支援事業
概要	市民の生命と財産を守るため、防災に関する情報収集及び確実な情報伝達に関し、市が現在活用しているICT技術（システム）のさらなる効果的な活用に向けた助言・提言のほか、地域の自主防災組織へ災害時の被害を減少させるための仕組みや活動等への理解を深めるための講演を依頼するもの。		
支援を求める分野	防災		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月13日	講演(実地)	8時30分	13時00分	
				活動時間（分）	270
2-2. 派遣場所	会場名	光地区消防組合消防本部ホール		最寄駅	JR山陽本線 光駅
	所在地	山口県光市光井六丁目16番1号		最寄駅からの交通手段	公用車

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	濱田 真輔
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	災害対応の経験則に基づく、災害時における職員の行動の在り方や、的確かつ効果的な情報発信手段の構築について、的確な助言をいただけた。また、市民の立場からの、主体的な防災行動、情報収集に関する助言等をいただけたことで、今後の市の防災体制の強化につながるものとする。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、機会を通じてご助言等をいただきたい。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	100人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	10	90	0	0

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自主防災組織ごとの活動に温度差が見受けられ、人材の高齢化・硬直化が進んでいる。また、災害が激甚化している中で、地域住民を守るために市としてどのように情報を伝え、防災に寄与できるか、専門家によるアドバイスや学びが必要であった。 一方で、令和6年3月に供用開始した市防災庁舎及び防災情報システムに関する効果的な活用をはじめ、過去の災害対応や導入機能に関する事例など、職員の防災対応能力の向上が不可欠である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・市民の立場における平時からの防災意識（防災への備え）の醸成 ・災害時における市民としての行動について ・防災に関する市民へのICT技術の適切な活用による情報管理、情報発信 ・情報発信手段に関する普及
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・地域での防災活動の中心を担う自主防災組織のリーダーや防災士の参加のもと、アドバイザーの経験等に基づく防災対応に関する意識づけを図った。 ・非常時における地域における主体的な行動、行政と市民との関係性・役割についての助言を受けた。 ・市が発信する情報の入手や活用についての助言を受けた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の立場からの防災に対する意識を、主体的に行動するための意識づけを高めることができた。</li> <li>平時からの地域での取組、顔の見える関係性の構築、また、地域で主体的に活動する世代が比較的高齢世代になりがちな中、中学生との連携、若者世代の防災への参画を考える良い機会となった。</li> <li>災害時において市民が求める重要な要素である「情報」について、市がICT技術を活用して発信する情報の入手や、的確に地域に伝達するための環境を整えていく大切さを認識できた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は、防災対応の充実を図る上での契機となるものであり、研修で得られた内容等について、今後の業務やシステム構築等に活かしていく。	
今回の研修で学んだ内容を地域での防災活動を展開していく上で、平時からの地域内での関係の構築や家庭での備えについて、さらなる助言等をしていく必要がある。		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	市民の防災意識醸成と今後の防災対応の充実の契機とすることが目的であり、アンケートは実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	情報発信手段の充実、効果的な運用 市全体としての防災対応のさらなる強化 地域における主体的な防災への取組の強化	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past\\_year\\_all houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

